

開催日時	平成 25 年 6 月 18 日（火） 午後 1 時 30 分から午後 2 時 15 分まで
開催場所	大垣市民病院 2 病棟 1 階会議室
議題	（1）委員長及び副委員長の選出について （2）平成 24 年度の実績及び平成 25 年度の取り組み状況について （3）その他
出席委員	委員長 山川 隆司（大垣市医師会長） 副委員長 杉山 勝治（大垣歯科医師会長） 委員 和田 育穂（大垣市医師会） 委員 片野 雅文（大垣歯科医師会） 委員 松本 正平（大垣薬剤師会長） 委員 加納 美緒（西濃保健所長） 委員 伊藤 恒子（日本中央看護専門学校長） 委員 竹中 昌子（大垣市連合婦人会長）
会議の公開区分	公開
傍聴人	なし
審議概要	<p>（1） 委員長及び副委員長の選出について</p> <p>・地域医療支援病院に関する設置要綱第 4 条第 1 項の規定による互選で、委員長に大垣市医師会長の山川隆司氏、副委員長に大垣歯科医師会長の杉山勝治氏が選出、承認された。</p> <p>（2） 平成 24 年度の実績及び平成 25 年度の取り組み状況について</p> <p>・よろず相談・地域連携課より、紹介率・逆紹介率、共同利用の実施として紹介医からの診察・検査数、救急医療の提供として救急利用件数、職員・医療関係者の研修会と市民対象の講演会の開催状況、開放型病床の利用状況の報告があった。</p> <p>①平成 24 年度の実績</p> <p>紹介率：46.4％（H24 年度月平均）、逆紹介率：63.8％（H24 年度月平均）</p> <p>紹介診察件数：6,596 件（H24 年度計）、紹介検査件数：1,163 件（H24 年度計）</p> <p>救急受診患者数：46,497 人（H24 年度計、月平均 3,874 人）</p> <p>救急車利用件数：8,620 件（H24 年度計、月平均 718 人）</p> <p>救急入院患者数：2,660 件（H24 年度計、月平均 221 人）</p> <p>職員・医療関係者研修会：開催数 40 回、参加人数 4,141 人（院外 309 人、院内 3,832 人）（平成 24 年度計）</p> <p>＊病診連携カンファレンス、コメディカルオープン勉強会、西濃がん早期診断研修会 等</p> <p>市民を対象とした講演会：開催数 27 回、参加人数 1,421 人（院外 1,333 人、院内 88 人）（平成 24 年度計）</p> <p>＊市民公開講座、在宅療養支援講座、糖尿病公開講演、成人気管支喘息教室 等</p> <p>開放型病床の状況</p> <p>登録医数：84 人（医師会員 75 人、歯科医師会員 9 人）（H24 年度）</p> <p>病床利用率：15.2％（H24 年度）</p> <p>②平成 25 年度の取り組み状況</p> <p>紹介率：44.8％（H25 年 4～5 月平均）、逆紹介率：66.0％（H25 年 4～5 月平均）</p> <p>紹介診察件数：1,132 件（H25 年 4～5 月計）、紹介検査件数：204 件（H25 年 4～5 月計）</p> <p>救急受診患者数：7,647 人（H25 年 4～5 月計、月平均 3,823 人）</p> <p>救急車利用件数：1,439 件（H25 年 4～5 月計、月平均 719 人）</p> <p>救急入院患者数：457 件（H25 年 4～5 月計、月平均 228 人）</p> <p>職員・医療関係者研修会：病診連携カンファレンス、コメディカルオープン勉強会等を予定</p> <p>市民を対象とした講演会：市民公開講座、糖尿病公開講演、成人気管支喘息教室等を予定</p>

	<p>開放型病床の状況</p> <p>登録医数：84 人（医師会員 75 人、歯科医師会員 9 人）（H25 年 6 月 1 日現在）</p> <p>病床利用率：21.0%（H25 年 4～5 月平均）</p> <ul style="list-style-type: none">各委員より、上記の取り組み状況についての意見があった。内容は次のとおり。<ul style="list-style-type: none">①救命救急センターでの受け入れ状況について<ul style="list-style-type: none">→（委員）救急受診患者及び救急車の利用状況の推移は。⇒（担当者回答）救急受診患者は、22 年度 44,752 人、23 年度 45,284 人、24 年度 46,497 人と年々増加傾向。救急車の利用件数は、22 年度 9,930 件、23 年度 9,768 件、24 年度 8,620 件と年々減少傾向。②紹介率・逆紹介率について<ul style="list-style-type: none">→（委員）逆紹介率が承認基準を下回る月があるが要因は。⇒（担当者回答）毎年 7、8 月は率が下がる。夏休みで新患が増え、算定式の分母が増大するため。③市民を対象とした講座について<ul style="list-style-type: none">→（委員）講座の開催情報を知るには。また褥瘡に関する講演は施設の方に評判が良い。施設に個別に案内してみてもは。⇒（担当者回答）市民病院のホームページや広報おおがきにて案内している。医療機関や施設への個別案内については、講座を主管する部署と連携を図り検討していく。 <p>（３） その他</p> <ul style="list-style-type: none">各委員及び当院より、意見・要望があった。内容は次のとおり。<ul style="list-style-type: none">①薬薬連携について<ul style="list-style-type: none">→（委員）薬薬連携を推進していきたいが。⇒（当院医師）連携の観点から、当院薬剤部と薬剤師会等と情報伝達を行っていくようにしている。②災害拠点病院としての取り組み<ul style="list-style-type: none">→（委員）今後の保健所の取り組みとして、災害医療、感染症について地域力の向上を考えています。市民病院は災害拠点病院であり、感染症指定医療機関として、病院の力もお借りして研修や訓練の見学をさせていただきたい。また、市・町の職員や施設の職員が参加できるような研修会や講習会をよりオープンに案内していただきたい。
次回開催	平成 25 年度第 2 回は 10 月 16 日（水）を開催予定とする